

# 「中枢神経原発リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究」へのご協力のお

## 願い

—2007年4月から2011年12月の間に当科において造血幹細胞移植を受けられた中枢神経原発リンパ腫の方へ—

研究機関名 岡山大学病院

責任研究者 岡山大学病院 血液腫瘍内科 助教 近藤英生

### 1. 研究の意義と目的

中枢神経原発リンパ腫（PCNSL）は、原発性脳腫瘍の3%、悪性リンパ腫の1~2%と稀な疾患です。欧州からは、造血幹細胞移植による成績が複数報告され、良好な治療成績が注目されていますが、残念ながら日本からの報告は、まだありません。日本造血細胞移植学会 造血細胞移植症例の一元化登録事業に登録された成績を解析し、日本における現状を把握することによって、今後の治療に大変参考になります。

### 2. 研究の方法

1) 研究対象：2007年4月から2011年12月の間に造血幹細胞移植を施行された中枢神経原発リンパ腫患者

2) 調査期間：

平成 25年 4月 1日 ~平成 25年 6月 30日

3) 研究方法：

今までに造血幹細胞移植を施行された方の造血細胞移植一元化登録事業への登録データを解析します。治療に関する介入はなく、人体試料は採取しません。

4) 調査票等：

調査票ファイルには、年齢、性、カルテ番号以外の個人情報（イニシャルなど）を記入しません。調査票ファイルは研究事務局で保管します。

5) 情報の保護：

調査票ファイルには、年齢、性、カルテ番号以外の個人情報（イニシャルなど）を記入しません。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成25年6月30日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 血液腫瘍内科 助教 近藤 英生 電話：086-223-7151